

江戸文化が甦る

— トロンコワ・コレクションで読み解く琳派から溝口健二まで —
石毛 弓・柏木隆雄・小林宣之編 大手前大学比較文化研究叢書⑫

▶ A 5 判・390頁／定価：本体3,800円(税別) ISBN978-4-7842-1847-9

2016年5月刊行

知られざる江戸版本、浮世絵の宝庫トロンコワ・コレクションをテーマに、近世美術から近代映像作品を対象として、多彩かつ重厚な論を全文日仏両語で収録する。

2014年から続く大手前大学日仏文化交流シンポジウムの集大成。

◆◆ 目次 ◆◆

まえがき

[柏木隆雄]

I トロンコワ・コレクションをめぐる

装飾芸術美術館附属図書室の日本コレクションに見る
トロンコワ・ルボーディ寄贈品について

[ロール・アベルシル]

トロンコワ旧蔵の山東京伝『近世奇跡考』の草稿本
—江戸時代の文化、風俗を考証した戯作者の随筆とフランス—

[クリストフ・マルケ]

宗達のグラフィック・デザインにおける「無常」

[林 進]

立ち美人の居るところ

[松尾芳樹]

トロンコワ・コレクションの芝居絵を読む

[柏木加代子]

II トロンコワ・コレクションの周辺

フェリシアン・シャレー『図入り日本』と
エマニュエル・トロンコワ

[柏木隆雄]

ジャポニスムと琳派：装飾再考「うつり」と「うつし」の観点から
—ルイ・ゴンス、ロジェ・マルクス、エミール・ガレ、クロード・モネの周辺—

[稲賀繁美]

日本のトンボとヨーロッパのトンボ—美術的・文学的研究—

[エマニュエル・シュヴァールツ]

肌に描く絵—現代シネマに見る芸術家の神話—

[レジス・ミシエル]

III 日本の近代美術と現代アート

創作について

[井澤幸三]

私の作品について

[いまふくふみよ]

私の立ち位置

[久木一直]

絵画—創り続けて—

[山田信義]

シンポジウムを総括して

[マリ=カトリーヌ・サユット]



思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	江戸文化が甦る	本体3,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1847-9	
お名前			tel		
ご住所	〒		e-mail		
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもご購入求め、お取り寄せできます ◎				

谷崎潤一郎と世紀末 大手前大学比較文化研究叢書1

松村昌家編

大手前大学で行われた日本比較文学学会全国大会のシンポジウムをもとに海外における谷崎評価も踏まえ、比較文学的見地から谷崎の文学に迫る。谷崎が世紀末のデカダンスの洗礼を受けたとされるノルダウの「世紀末」とクラフト＝エービングの「マゾヒズム」の翻訳を収録。

▶A5判・212頁／本体2,800円(税別) ISBN4-7842-1104-7

※ヴィクトリア朝英国と東アジア 大手前大学比較文化研究叢書3

川本皓嗣・松村昌家編

近代化過程における日本・中国・朝鮮と英国との文化交流誌。
【目次】ムスメに魅せられた人々/交差する両洋の眼差し/福沢諭吉におけるW・バジョット問題/ミルのOn Libertyは明治日本と清末中国でどのように読まれたか/キプリングと日本/『イラストレイテッド・ロンドン・ニュース』の東アジア 他

▶A5判・280頁／本体3,200円(税別) ISBN4-7842-1297-3

阪神文化論 大手前大学比較文化研究叢書5

川本皓嗣・松村昌家編

歌枕に詠まれたいにしへの芦屋の浜、歌人や作家に愛され、その作品に影響を与えてきた芦屋・西宮など阪神間の風土、さらに開港早々慌ただしい歴史の舞台ともなった神戸——文学、歴史から阪神文化の神髄に触れる。【目次】歌枕の詩学/松瀬青々論/昭和初期の神戸における青年団運動について/A・B・ミットフォードと神戸事件 他

▶A5判・290頁／本体3,200円(税別) ISBN978-4-7842-1398-6

一九二〇年代東アジアの文化交流Ⅱ

川本皓嗣・上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書7

1920年代の東アジア文化交流の様相を解明する第2弾。演劇・詩歌・文芸などをテーマに東アジアを総観する。

【執筆者】カレン・ローラ・ソーンバー/竹村民郎/程朝翔/周閏/劉岸偉/梁東國/趙怡/岩谷幹子/厳安生

▶A5判・274頁／本体2,500円(税別) ISBN978-7842-1584-3

一九三〇年代東アジアの文化交流

上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書9

未開拓な部分が多い1930年代の東アジアの文化交流。当該各国の研究者を結集してその様相を解明する。世界恐慌のため鎖国経済化が進み、東アジアでは、満洲事変を皮切り世界大戦へと発展する時代。戦争の影で見落とされがちな当時の文化交流を様々な視点から論じる。

▶A5判・258頁／本体2,800円(税別) ISBN978-7842-1687-1

※日仏マンガの交流 大手前大学比較文化研究叢書11

ヒストリー・アダプテーション・クリエーション
石毛弓・柏木隆雄・小林宣之編

日仏両国および海外のマンガ/バンド・デジネ文化について、各国の特質と相互の交流を、特徴・受容・翻訳などの視点から考察する。

【内容】物語マンガの発展/アジアにおけるマンガの特徴と現状/フランス漫画の原点/バンド・デジネの遺伝子とその進化論 ほか

▶A5判・286頁／本体2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1802-8

琳派 響きあう美

河野元昭著

光悦・宗達・光琳・乾山・抱一・其一など、琳派と呼ばれる芸術家たちが互いにどう影響しあひ、独自の美を生み出してきたのか。今もなおお人びとを魅了してやまない才能あふれるクリエイターたちの実像に迫る27篇。琳派研究の集大成。

▶A5判・880頁／本体9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1785-4

ジャポニスム入門

ジャポニスム学会編

19世紀後半から、西洋の芸術諸分野にわたって与えた日本の影響をやさしく読み解き、建築、音楽、写真、モードという絵画・工芸以外の分野におけるジャポニスムをも射程に入れ、ジャポニスムの全体像に迫る。

▶A5判・292頁／本体2,800円(税別) ISBN4-7842-1053-9

※視覚芸術の比較文化 大手前大学比較文化研究叢書2

武田恒夫・辻成史・松村昌家編

源氏物語からラファエル前派まで、日欧の古代から現代までの文学テキストと絵画・工芸などとの関わりを、まるで謎解きのように解いていく。文学と視覚芸術の交差点。【内容】物語絵から物語図へ/文芸を着る/むさしの、そして『武蔵野』まで/ゴッガン作『デ・ハーン』の肖像に描かれた書物/マンチェスター美術名宝博覧会 他

▶A5判・256頁／本体2,800円(税別) ISBN4-7842-1187-X

夏目漱石における東と西 大手前大学比較文化研究叢書4

松村昌家編

明治の文豪・夏目漱石の小説において、そこに織り込まれた西洋の概念と東洋の概念の葛藤、直接影響を受けた小説との比較、イギリスの事物の受容の様相など、鋭敏な研究者たちによる漱石文学論。

【内容】小説美学としての『吾輩は猫である』におけるメランコリーと神経衰弱/奇人たちの饗宴/漱石の薔薇戦争 他

▶A5判・208頁／本体2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1335-1

※一九二〇年代東アジアの文化交流

川本皓嗣・上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書6

大正デモクラシー下の日本では、好景気と安定した国際関係により、海外交流が新展開を見せた。明治期の交流にくらべて研究の事例も少なく、未開拓の部分も多い1920年代の東アジア文化交流の様相を、当該各国の研究者を結集することによって、明らかにする。

▶A5判・232頁／本体2,800円(税別) ISBN978-7842-1508-9

比較詩学と文化の翻訳

川本皓嗣・上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書8

国際比較文学会(ICLA)会長であった故アール・マイナー氏の追悼と、同じくICLA会長を務めた川本皓嗣大手前大学前学長の退職を祝うため、各国から集った研究者の共同論集。詩歌の翻訳から民謡、仏教、獅子舞、ベルシャの涙壺まで、比較文化と翻訳にまつわる事象を様々な論じる。

▶A5判・286頁／本体2,500円(税別) ISBN978-7842-1637-6

日仏文学・美術の交流 大手前大学比較文化研究叢書10

「トロンコワ・コレクション」とその周辺

石毛弓・柏木隆雄・小林宣之編

明治27年から明治43年にかけて日本に滞在、多くの和本や美術品を蒐集、研究したE・トロンコワのバリ国立高等美術学校所蔵コレクションを柱に、日仏美術の交感を論じた7篇を日仏両言語で収録。カラーを含む図版を多数掲載。

▶A5判・284頁／本体2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1745-8

セザンヌと鉄斎 同質の感動とその由縁

山岸恒雄著

フランスの画家ポール・セザンヌと富岡鉄斎。両者の絵の同質性が何に由来するものなのか、また何を意味するものなのかを、両画家の生い立ちや教育、思想、哲学、人生観、芸術観等から明かにしていく。

▶A5判・358頁／本体2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1796-0

岡倉天心の比較文化史的研究

清水恵美子著

ボストンでの活動と芸術思想

明治時代に美術分野で活躍した思想家、岡倉寛三(天心、1863-1913)の生涯の活動に通底する思想や、ボストン社会で成そうとしていたことは、いかなるものだったのか。またボストンと日本における岡倉像を比較し、固定化され流布されている「岡倉天心」像を再検証する。

▶A5判・548頁／本体10,700円(税別) ISBN978-4-7842-1605-5

※ドイツにおける<日本=像>

ユーゲントシュティールからバウハウスまで

クラウディア・デランク著/水藤龍彦・池田祐子訳

ドイツ美術における日本美術、ひいては横断的な日本=像の変遷をたどる。裾野の広い日本=像の提示を可能にした彩色写真や、ヨハネス・イッテンにおける「山水画」「南画」の影響に関する考察などは特筆。

▶A5判・312頁／本体3,800円(税別) ISBN4-7842-1194-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。